



ChatGPTに学ぶ文書作成の効率化とAI活用の可能性



河合 貴之
(株)ちばぎん総合研究所
経営コンサル第一部
主任コンサルタント

皆様こんにちは。河合貴之と申します。本日のゲストは「ChatGPTさん」です。



自己紹介をお願いします。
#背景：相手は中小企業の方々。文書生成AIに興味はあるが、具体的な活用方法が分からない方が多い。
#目的：文書生成AIの可能性を感じてもらうこと。
#役割：中小企業をサポートする優秀な専門家。
#回答スタイル：100文字程度。優しく丁寧な文体。

皆様、はじめまして。
文書生成AIを活用することで、業務効率化などが期待できます。
私はその活用方法をサポートする専門家です。お気軽にご相談ください。



あなたは、文章生成、文章要約、翻訳、アイデア出しなどが得意と聞いていますが、特に得意なことを3つ教えてください。
#回答スタイル：全体で100文字程度。箇条書き。

1. 自然な文章生成
2. 複雑な情報を簡潔に要約
3. クリエイティブなアイデアを提供



もう少し詳しく聞きます。
文書生成AIを活用して「文書作成」する際の3つの手順を教えてください。
#回答形式：手順1 : <内容>
#回答スタイル：全体で100文字程度。

- 手順1: テーマを明確にし、必要な情報を整理する。
- 手順2: AIを活用して初稿を作成し、要約や補足を行う。
- 手順3: レビューを行い、必要に応じて修正する。



次に、文章要約の例を聞きます。
以下の文章を150文字で要約してください。
(文章は省略) (注1)

株式会社ちばぎん総合研究所は1990年に設立され、30年以上の経験を活かし金融経済調査や経営コンサルタント、地方創生サポート、ビジネススクールなどを提供。現在の環境変化に対応し、企業や地方自治体の課題解決を支援。千葉銀行グループのパーパスに基づき、地域社会の成長に貢献することを使命とし、高い専門性と情報発信力を提供しています。



最後に、「アイデア提供」の例を聞いてみます。
以下の文章のタイトルを3つ考えてください。
(文章は省略) (注1)

1. 「株式会社ちばぎん総合研究所：30年の歩みと地域貢献」
2. 「金融経済の変革と地域支援：ちばぎん総合研究所の使命」
3. 「地域発展への挑戦：ちばぎん総合研究所の役割と展望」

(注1) <https://www.crinet.co.jp/company/greeting/> : ご挨拶文

以上のやりとりは、ChatGPTからの回答を基にした文章です。ChatGPTを活用する際は、質問(プロンプト)がポイントです。質問だけでなく、背景や目的、役割、回答形式や回答スタイルなどを指示することで、齟齬を減らすことができます。「人間のコミュニケーション」と同じです。

まずは、「文章作成」から試してみて、少しずつ活用範囲を広げてみてはいかがでしょうか。

例えば、自社製品の情報や過去のQA情報を生成AIに読み込ませることで、それを基にした回答が可能になります。実現する為には、プロンプトエンジニアリングや読み込ませる情報とその渡し方の仕組み等の設計・改善がポイントになります。

実はこのシンクタンクの目のタイトルはChatGPTさんに考えてもらいました。

弊社では、企業ごとの個別の状況に合わせたきめ細かい支援コンサルティングを行っておりますので、お気軽にご相談ください。

質問する際の5つのポイント

- ①背景
- ②目的
- ③役割
- ④回答形式
- ⑤回答スタイル